

調査委員会における調査研究報告書

教科名（生活）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（2）	発行者（大日本図書） 発行者番号（4）	発行者（学校図書） 発行者番号（11）
1 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な人々や社会、及び自然と関わる姿が、写真や挿絵で多様に示されており、児童が自分の生活との関わりで捉えやすく、また、大きな意欲付けにもなる。 ○ 生活科で身に付けるべき資質や能力を発揮している姿が、挿絵や吹き出し、表現作品などに例示されている。 ○ 学びを深めるための表現活動として、掲示物や板書例、情報機器の活用例など多様な活動が挿絵で掲載されている。また、下巻には対話を通して深い学びを実現していく過程が「学びをふかめる」コーナーに挿絵と吹き出しで載っており、授業改善の手掛かりとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入は2ページにわたるダイナミックで躍動感のある写真を有効に使い、「おもしろそう！」「やってみよう！」など児童が興味・関心を高め意欲的に活動に取り組めるように工夫されている。 ○ 「せいかつことば」コーナーで様々な言葉やその使い方を示し、児童の語彙力の向上とともに、豊かな表現力の育成、表現活動の充実が図れるように工夫されている。 ○ 教師が教える場面と児童自身が考える場面のバランスに配慮し、教師の支援を適切に盛り込み、深い学びへ導くためのヒントが分かりやすく示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的な学びを促すために、自己決定の場が設定されている。 ○ 4人の児童が様々な経験を通して対話をしながら成長していく場面が挿絵やせりふで表現され、活動のヒントとなる。また、様々な人との交流や感謝を伝える活動が数多く設定されており、全体として対話的な学びが大切にされている。 ○ 全単元を通して振り返りの場面が充実しており、児童が自分の成長を自覚して自信をもち、深い学びにつながるように工夫されている。
2 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達段階や特性を踏まえ、関わる対象や育成する資質・能力などが、上巻と下巻で段階的に高まるように単元が構成されている。 ○ 上巻では教室から学校全体、自分の通学路へ、下巻では学校周辺から地域へと、児童の発達段階に応じて無理なく活動範囲が広がっていくように学習活動が構成されている。 ○ 対象と関わる時間を十分に確保できるよう、低学年児童の発達に配慮した取り組みやすい活動が、適切に適量で取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節に沿った大単元構成で、児童の意識に沿って無理なく季節と活動を結び付けることができる。 ○ 1つの活動の例示を見開きで構成し、小単元名、本文、吹き出しの活用、写真やイラスト及びキャラクターなどを適量でバランスよく配置することによって、活動のポイントが低学年にも的確に把握できるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「探検」「遊び」「栽培」「飼育」「成長」と活動ごとの大単元構成になっており、児童が学習を振り返りやすいように工夫されている。 ○ 「どきどき」「いきいき」「ふむふむ」「にこにこ」と、各単元は大きく4つの学習段階に分けて構成されており、学習の段階や流れを明確にしたり、それぞれの単元の課題のたせ方を焦点化したりと、何をどのように学習するのかが分かりやすくなっている。
3 表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小単元名や本文、やくそく、マーク、記録カードなどは、原則として、定位置に配置されている。 ○ 点やはらいの形状を保ちながら、強さの強弱を抑えた、教科書専用のユニバーサルデザインフォントを使用している。また、強い色彩の使用を避け、紙面は落ち着いた淡い色調で統一されている。 ○ 児童向けのすべての文章が、文節で分かち書きされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントや、色覚の特性によらず情報が読み取れるようカラーユニバーサルデザインを使用している。 ○ 児童向けの文章が、分かち書きや、読みやすい位置で文節改行されている。 ○ 漢字やカタカナは学習進度を配慮して使用され、また、ルビがふられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の見出しやカードの位置を揃えている。 ○ ユニバーサルデザインに配慮し、過度な色使いをせず、記号やマーク表示をできるだけ抑えている。 ○ 漢字やカタカナは学習進度を配慮して使用され、また、ルビがふられている。
4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻巻末に、ポケット図鑑が付いていて、屋外での活動に携帯することができる。 ○ 上下巻の巻末に生活科で身に付けるべき習慣や技能について学ぶことができる「かつどうべんりてちょう」のページがあり、日常生活から中学年以降の学習にも活用できる「学び方」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の模様が浮き上がっていたり、触り心地を変えたりして、「見る」「触る」といった諸感覚を活用して児童の感性を刺激し、直接体験の楽しさを味わわせようとする紙面になっている。 ○ 探検カメラや、探検ライトなど、作って使えるページがあり、またそれを活用する活動が掲載されていて、児童の興味や関心を促す工夫がされている。 ○ 上下巻末に資料「がくしゅうどうぐばこ」のページがあり、生活科で身に付けるべき知識や能力を学ぶことができると同時に、図鑑としても活用でき、本を使って調べるといった学びの基礎を養える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下巻末に「学び方図かん」が掲載されていて、他教科でも活用できる学び方の基礎について学習することができる。 ○ 児童の主体的な学びを支援する「ものしりノート」等、図鑑のページが充実しており、児童が自ら進んで活動の場を広げていけるよう配慮されている。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（生活）

No. 2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（信州教育出版社） 発行者番号（26）	発行者（光村図書） 発行者番号（38）
1 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活科の教科目標から育成すべき力を6つ抽出（きづく、じぶんでできる、かんがえる、など）し、単元の最初に特にその単元で特に育成したい力を示すことで、学習のめあてを明確にもって活動を進めることができるよう工夫されている。 ○ 各単元で学習を振り返るために「なにをかんじたかな」ページを設け、児童が学習での気づきを記録したり、「まんぞくハシゴ」で自己評価したりして、自分の成長を自覚して深い学びにつながるような工夫がされている。またそこには、児童の気づきや教師の支援が写真や吹き出しで例示され、指導の助けになっている。 	見本なし	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動物や植物などを大きく写している写真が多く、活動対象に興味があわくようになっている。また、単元の初めに友達との対話場面をイラストで数多く掲載することで、生活経験から単元の活動を具体的に想起できるように配慮されている。 ○ 「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階を各単元の最初と、該当するページに明示することにより、学習の流れを児童自身が見通すことができるように工夫されている。 ○ イラストの児童の発言例には深い学びの姿が示されており、指導の手掛かりとなる。
2 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校から地域への活動の広がりや、諸感覚を使った自然体験から自然のもつ力について考える思考の深まりなど、上巻から下巻へと発達段階に応じて児童の行動範囲や気づきや思考が広がっていくように構成されている。 ○ 文字量について、上巻から下巻へと徐々に増やすなど発達段階に応じた配慮がなされている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下巻とも季節に沿って単元が構成されているが、活動のまとまりごとに構成しているため、指導の順序を柔軟に入れ替えることができるように配慮されている。 ○ 学習過程を明確に示すために、各単元が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成されており、この3段階を通じて「主体的・対話的で深い学び」が着実に達成できるように学びを深める工夫がされている。
3 表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色覚等の特性を踏まえ、判読しやすい配色やレイアウト（カラーユニバーサルデザイン）がなされている。また、判読しやすいユニバーサルフォントを使用している。 ○ 漢字やカタカナは学習進度を配慮して使用され、また、ルビがふられている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年児童の発達段階を考慮した平易な表記や表現で、文字も読みやすい大きさと書体を使用されている。配色も色覚の多様性に配慮してカラーユニバーサルデザインを使用している。 ○ イラストはいずれも低学年児童が親しみやすいものを採用し、児童の活動意欲を引き出せるよう、配慮・工夫されている。
4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童と同じ目線で一緒に学習し成長するキャラクターが登場し、児童の興味・関心を刺激し、学習意欲を高めるとともに、自分を映す対象が教科書にあることで、比較や関連付けがしやすくなり思考力の深まりを助けるような工夫がなされている。 ○ 上下巻末の「学びのポケット」は、他教科の知識・技能が整理されており、適宜、生活科で学んだことを他教科等で、他教科で学んだことを生活科で相互に発揮できるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に張り替え可能なシールが付属しており、各単元の活動の振り返りと、1年間のまとめの学習に活用することができるようになっており、児童の意欲を高める工夫がされている。 ○ 巻末に「ひろがるせいかつじてん」のページがあり、生活科で身に付けるべき習慣や技能を学び、他教科に生かすことができる。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（生活）

No. 3

調査研究の観点	所 見		
	発行者（新興出版社啓林館） 発行者番号（61）	発行者（日本文教出版） 発行者番号（116）	発行者（ ） 発行者番号（ ）
1 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元導入は、「わくわくの扉」と「わくわくボックス」の4ページで構成され、児童の興味や関心、意欲を高め、学びの見通しをもてるように工夫されている。 ○ 見つける・比べる・たとえる・ためす・見直す・工夫するといった多様な学習活動や、1対1やグループ、身振り手振りや実物を示しながらなど、多様な表現方法が挿絵や写真で示されており、豊かな表現力の育成、表現活動の充実が図れるように工夫されている。 ○ 言葉かけ、板書、ICTの活用方法など、教師の支援の例が挿絵やせりふで具体的に多数掲載されており、児童を深い学びに導くためのヒントが適切に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際に学習をしている児童の写真が数多く掲載され、学習を通してイメージを膨らませた児童から、様々な気付きを引き出せるように工夫されている。 ○ 小単元ごとに、それぞれの場面でどんな資質・能力を意識して指導すればよいか、教科書の左下に具体的に示されており、ねらいを明確にして指導できるよう配慮されている。 ○ 板書のイラストを中心に、多様な表現方法の例示や話合いの場面などが具体的に示され、児童も教員も学習のイメージがもちやすくなるよう工夫されている。 	
2 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下巻ともに季節に沿って単元が構成され、単元が進むにつれて活動が広がるように配列されている。 ○ 生活科の学びのプロセスを大切にし、各単元は導入「わくわく」、主たる活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、探究的な学び方が身に付くように構成されている。 ○ 児童の思いや願いが次の活動につながるように、紙面右下に「めくり言葉」が設定されている。これにより、活動が単発的にならず、気付きの繰り返して学習が深まっていく構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元ごとにイメージカラーとアイコンを設定し、どの単元、どのページを開いているかが、わかりやすく構成されている。また、巻末図鑑等資料性の高いページは、単元のページと簡単に区別できるように、ページ番号のデザインが工夫されている。 ○ 単元扉、活動場面、振り返り場面、「ポケット図鑑」など、それぞれのページでのまとまりを意識した構成になっており、児童が単元の流れをつかみやすいように工夫されている。 	
3 表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小単元名、本文、カード例などの要素の位置は、原則として固定されている。 ○ 発達段階を考慮し、漢字、カタカナにはルビがふられている。また、文章は短く、区切られている。 ○ 本文などの基本的な文字は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書体に準じた書体を使用している。 ○ 全ての漢字にふりがながふられている。 ○ 文節で改行されている。 ○ 文字組み、デザイン、色づかいなど、視覚活動に支援を要する児童も使用できるように、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 	
4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下巻末の「がくしゅうずかん」では、調べ方、記録の仕方、話し合いの工夫、まとめ方などが一連で示されていたり、道具の使い方、安全上の注意などが示されたりして、生活科で身に付けるべき知識や技能の学び方が身に付けられるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書を山折りすることで、植物の成長過程が一覧できる立体のしかけが作られている。 ○ 一部のページに特殊加工を施した実物大の点字が載っており、実際に触って体験することができる。 ○ 巻末に「ちえとわざのたからばこ」のページがあり、生活科で身に付けるべき知識や能力を学ぶことができると同時に、図鑑としても活用でき、本を使って調べるといった学びの基礎を養える。 	